

助成事業実施報告書

団体名 木更津みなと口こども食堂

代表者・役職名 氏名 (代表) 山下 善明

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「まだまだ頑張ろう！コロナ禍でのお弁当無料配布」

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

2020年3月以来継続してきた、コロナ下でのこども食堂フードパントリーも、3年目となり、この夏は先が見えたかのように思えるが、子育て中の家庭の大変さはまだ当分続くと思われる。この状況で間もなく迎える子供の夏休みへの対応は、昨年同様、学校が休みになることで更に「食べられない子供」が増える恐れがあり、対応の必要がある。ここからの3か月間は、コロナの影響の深刻度がいくらか低下しつつある中での、活動のピークになる可能性もあり、今年後半は元の会食形式のこども食堂へ移行することを前提で乗り切っていきたい。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

【結果】

期間中は①会場でのお弁当配付(第2木曜)とお米等食材配付(第4木曜)を実施②第3次「宅食」(ひとり親家庭への食材無料配達、但しお弁当は送らない)の実施をメインに実施した。※下記実績は月の合計

7月総数	192	98	94	17
8月	180	91	89	19
9月	212	108	104	22

【成果】

8月の第2週はお盆休暇の最中で、例年来場が減る傾向だが、今年は更に減った。しかし、全体として来場者(利用者)は増加傾向にある。ひとり親支援の宅食件数も増加。

【社会的な変化】

本事業による直接かつ明確な効果は、来場数の動向以外、把握できていないが、活動全体への環境は良くなってきている。

- ① 8月に木更津市と地銀(君津信用組合)の運営する地域電子通貨「アクアコイン」による寄付専用の市民活動団体に選定された。これにより地域での活動認知が深まって、継続的に市民からの(電子通貨による)寄付を受けるようになった。
- ② 7月からフリーペーパー「地域新聞社」の取材をうけ、7月28日のこども食堂開催の様子が9月発行の新聞に掲載され、その後あちこちからの食材寄付や活動への問い合わせが増えた。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

計画の終了時点で、コロナはやや勢いがなくなった感もあるが、今後インフルエンザの流行と合せ、まだ活動を継続する必要がある。「お弁当を買い付けて配布する」活動は費用が掛かり、出来るだけ早い時期での、来場者が一緒に食事をする「会食」に切り替えたいが、それも遅れる状況では、やはり財源的に厳しい。また、ひとり親を取り巻く環境は、今後一層悪化の懸念があり、こちらも継続したいが同様に食材の確保と費用の問題がある。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください





#木更津 #木更津市 #子ども食堂

「木更津みなと口子ども食堂」【団体紹介】クリエイティビティ部動画制作部/制作

177 回視聴・2022/08/11



3



低評価



共有



オフライン



保存

...



#木更津 #木更津市 #子ども食堂

「木更津みなと口子ども食堂」【団体紹介】クリエイティビティ部動画制作部/制作

177 回視聴・2022/08/11



3



低評価



共有



オフライン



保存

...